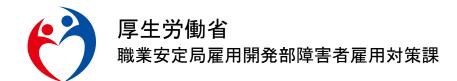
資料1-3

眞保委員提出資料

(案)

精神障害のある方等の 就労パスポート



			取於史初口	'T	Я	П	
	氏名		障害名 (診断名)				
1	職務経験 (これまで企業や福祉サービス事業所で従事した職務と期間を記入(受障前のものも含む))						
2	仕事上のセ	ールスポイント (コミュニケーション・作業遂行面のセー)	ルスポイントや自	分の強みが発	揮できると	思われる職種・作業内	容を記入)
3	体調管理と	希望する働き方					
		自分の特徴・	※該当するもの	に図(複数選	択可)		
		○ストレス等を感じやすい状況・場面					
		〇ストレス等のサイン(例:肩がこる、口数が減る、寝	受付きが悪くなる	る、食欲が減る	(等)		
	ストレス・ 疲労						
		〇対処方法(自分で取り組むこと、配慮してほしいこ	と)				
	通院のため	□ 必要なし					
	の休暇	□ 必要あり(頻度・曜日・時間帯 :)
	服薬管理 のための 配慮 ※服薬ありの	□ 必要なし □ 必要あり ※具体的内容→					
	場合に記入						

	1日の 勤務時間	□ フルタイム(時分~時分)□ フルタイム以外(時分~時分)□ フルタイム以外から始めて段階的に延ばしたい→具体的希望()
	1週間の 勤務日数	□ 当初から固定→ 週 _ 日勤務を希望□ 勤務日数を段階的に延ばしたい(具体的希望→)
希望する働き方	作業環境	避けたいもの □ 音(機械音、人の話し声等) □ 照度 □ におい □ 屋外作業 □ 高所 □ 閉所 □ 特になし □ その他()	
	休憩の取り方	□ 静かな場所・部屋がよい □ 一人で過ごす方がよい □ 特に希望なし □ その他 ()
	体調に応じた 業務量や作業 内容・方法等 の調整	□ 必要なし□ 必要あり※具体的内容→	
	業務を安定して 遂行するために 必要な機器、設 備調整	(例)イヤーマフ(ノイズキャンセリングヘッドフォン)、パーティション、休憩スペースなど	
その他	(自由記述)		

4 コミュニケーション面

	自分の特徴 ※該当するものに☑(複数選択可)				
	□ 電話応対・接客などの対人業務で求められる柔軟なコミュニケーションができる				
	□ 決まった場所やタイミングでの挨拶・報告など定型的なコミュニケーションができる				
	□ 仕事に必要な会話は自分からできる				
4-1	□ 慣れれば自分から話しかけられるが、慣れるまでの間は声をかけてもらえた方が話しやすくなる				
会話、意思表示	□ 相手や場面に応じたやりとりの仕方(表情、視線、言葉遣い等)は、具体的に教えてもらうことで徐々に身に つけていくことができる				
	口その他				
	□ 相手の話の内容、表情・身振り、声の調子をもとに推察することができる				
4-2	□ 推察は苦手だが、質問して相手の気持ちや考えを確かめることができる				
相手の気	□ 気持ちや考えは、言葉で明確に伝えてもらう方が分かりやすい				
持ちや考えの理解・推	口その他				
察					
		J			

5 作業遂行面

		自分の特徴 ※該当するものに②(複数選択可)	自分で対処していること
5-2	5-2-1 作業開始時 の段取り、 優先順位づけ	□ 2つ以上の作業指示を受けた際、自力で段取りをつけられる	
段		□ 経験のある作業であれば、2つ以上の作業指示にも自力で段取りをつけられる	
取り、		□ 2つ以上の作業指示については、経験の有無にかかわらず具体的な段取りを 教えてもらえれば対応できる	
優先	5-2-2 作業途中で の変化への 対応 [※]	□ 自力で変化に対応できる	
順		□ 経験のある作業であれば、自力で変化に対応できる	
位づけ		□ 具体的に対応方法を教えてくれる人がいれば、変化に対応できる	
変		□ 変化があることを早めに伝えておいてもらえれば、変化に対応できる	
化		※優先順位の判断、所要時間の見通し、関連する人との調整等をいいます。	
へ の お		(自由記述)	
対応	5-2-3 その他		

	自分の特徴 ※該当するものに☑(複数選択可)	自分で対処していること
	□ 作業手順を習得するまでは、作業速度よりも正確さを優先してもらえるとよい	
<mark>5–3−1</mark> 正確性	□ 正誤の判断基準、効果的・効率的な確認方法を具体的に教えてもらえるとよい	
工作工	□ 当初、正確にできているか作業結果をチェックしてもらえるとよい(正しくできていることがわかると、その後安定して作業に取り組める)	
	□ 流れ作業に対応できる	
5-3-2 作業速度	□ 単独作業(比較的自分のペースで取り組める作業)の方が取り組みやすい	
	□ 急ぐ必要がある場面で、正確さを維持しつつ作業速度を上げられる	

	T			
		自分の特徴 ※該当	iするものに☑(複数選択可)	自分で対処していること
	□ 終日安定して	作業に取り組める		
	□ 集中力を維持	するための取組・工夫領	策を持っている(→右欄に記載)	
5-3-3			大安定して作業ができる	
集中力、持続力、安定性	→休憩のダ1	ミング・頻度(例:干削・	午後に1回5分ずつ、90分ごとに5分など)	
F 0 4	□ 自分で適時で	<u> </u>		
5-3-4 作業に伴う確				
認·質問·報告	口ダイミング・内容	容・相手等が予め分かっ	こいればできる	
	口 まわりの人と	適時打合せをしながら 対	かできる	
5-3-5	口 役割分担が具	体的に分かれば対応で	きる	
他者との共同 作業	ロ リーダーの指:	示がその都度あれば対	応できる	
	│ │ □ 自分のペース	で取り組むことができれ	しば対応できる	
	(自由記述)			
<mark>5−3−6</mark> その他				
		自分の特徴 ※該当	iするものに☑(複数選択可)	自分で対処していること
	口 仕事ぶりの評	価、それに基づく目標説	と定を適切に(概ね適切に)自分でできる	
5-4-1	□ 指導・注意は和	隠やかな口調で、ミスの	原因・改善策を具体的に伝えてもらえるとよい	
結果の評価、	□ 何がどこまでで	できているのか(できてし	いないのか)、次にどのような目標に取り組め	
向上・改善に 向けた目標の	ばよいか等、信	土事ぶりの評価と目標語	设定については、具体的な助言があるとよい	
設定と実行	口 助言を受ける	機会が定期的にあると。	よい(特に就職後の一定期間)	
	口 できていること	を具体的に伝えてもら	えると、モチベーションを維持しやすい	
	(自由記述)			
5-4-2 その他				
C 07 15				
就職後の自己		行面」の記載内突のうた が	『化したと感じる項目(悉号)を記入→企業。支援機関の	担当者と一緒に振り返りを)
	・コミュニケーション面」、「5 作業遂行面」の記載内容のうち、変化したと感じる項目(番号)を記入→企業・支援機関(・ チェック時期 変化したと感じる項目			
			交にしたと恋しる場合	
	就職3か月後			
□ 就職6か月後 				
□ 就職1年後	2			
〔参考:支援機				
支援機関名		連絡先	利用している支援の	内容

裏表紙